

## 七月合同例会に参加して

山梨青年工業会の皆さまより

山梨青年工業会

会長

榎天鳥 代表取締役

志村 雄 様

佐藤部長を始めとする経営研究部会の皆様、田中委員長を始めとするデジタル推進委員会の皆様、大変難しい環境下の中、逆境を力に変える例会運営誠にありがとうございます。

初めてのオンラインでの合同例会、新しい形への挑戦でしたが、大変有意義なものだったと感じております。

例会の内容もさることながら、笹川理事長の挨拶では歴史の振り返りも行って頂き、私も見た事ない写真を見る事が出来ました。

両会の紹介動画も少し速足ではありましたが、ポイントをとめられていてスローバージョンを見たくなりました。

グループワークでは多くの意見が交わされお互いの理解を深めながら、個々のパーソナリティーを感じながら懇親を深める事が出来ました。

グループ以外の方との接点が少なかったのは少し寂しかったですが、次に会う時の楽しみにしました。

山梨、昭島と商業圏の違う会員が互いに刺激し合う合同例会で得られる物は大きいと再認識させて頂きました。今後も互いに切磋琢磨して行きましょ。

## 山梨青年工業会 デジタル推進委員会委員長

山梨ユニフォーム 榎

取締役営業本部長

田中 宏樹 様

令和三年七月十日(土)に開催致しました、七月合同例会へ互いを知りコンセンサスについて考えよう！BRIGHTH FUTURESを担う！をテーマに開催致しました。山梨青年工業会デジタル推進委員会委員長の田中宏樹です。

今回の合同例会を設営していくにあたり、昨年はコロナ禍の為に開催出来なかった事もあり、何としても開催する！という強い意志のもと経営研究部会の佐藤部長と話し合いを重ねていきました。その中で今年も新型コロナウイルスの影響でオンラインでの開催に切り替える必要があるという事になりました。

事前に両会混合のLINEグループを作成し、例会当日はZOOMとGOOGLEスプレッドシートを用いてグループワークを行う事にしました。事前に両会混合のLINEグループを作成し、例会当日はZOOMとGOOGLEスプレッドシートを用いてグループワークを行う事にしました。

実際に皆様笑顔で楽しく参加してくださっているのを見て両会の親睦も深まったのではないかと振り返ります。

私自身今回が二回目の合同例会に委員長として参加させて頂いた事で、とても得難い経験を積みさせて頂きました。

佐藤部長をはじめ経営研究部会の皆様、デジタル推進委員会のみなさんにはご迷惑をたくさんかけましたが、ご協力の数々誠にありがとうございます。

そして、この合同例会にご参加いただいた皆様のおかげで、素晴らしい合同例会を創り上げられました、本当にありがとうございます！

山梨青年工業会  
五十年実業会  
特別委員会  
代表取締役  
宮澤 良治 様

AIJの皆様、そして佐藤部長率いる経営研究部会の皆様、ありがとうございます。

三年ぶりの合同例会に参加して思ったのは、AIJさんとの交流は地域の経済規模の違いがあるが、考え方や、物の見方も違いがあり、青工会では感じることの出来ない刺激を得ることが出来てとてもいい、ということですね。

三月の春季セミナーにも参加させて頂いた頂きましたがAIJの皆様との交流はとても良かったです。

コンセンサスゲームは、参加者の個性がよく分かる内容で、いかにコンセンサスをとっていくか大変なグループは比較的時間が短縮されたと思います。

FFS理論で受容性が一位の人が五人中三人いて、受容性が皆より低かった僕に合わせる必要がなかったのか？と感じてしまいました。

例会ではFFS理論をもう少し深掘りして欲しかったのですが、時間には限りがありますので、今回の例会をきっかけとして頂いた本をしっかり読み込み、己を知り、己を見つめ直し、逆境を力に、新たな一歩を力強く歩んで行きたいと思えます。

## 山梨青年工業会 仲間を増やそう委員会副委員長

古屋法律会計事務所 会計  
山本 久美子 様

七月例会は昭島青年経営者クラブと山梨青年工業会の合同でZOOMを活用し、コンセンサスゲームとFFS理論を学びました。昨年はコロナウイルスの影響で合同例会が行われなかった為、二年振りの合同例会でした。

昭島青年経営者クラブの皆様とオンラインでの交流だと、関わりが薄くなってしまうことも懸念しましたが、事前にスプレッドシートを活用した自己紹介、ライングループを作ることによって解消されたように思いました。

コンセンサスゲームでは、複数人で物事を決めることは多いと思いますが、意見の異なる人達とどうやってコミュニケーションをとっていくべきなのか、その時大事になってくる合意形成を学習することが出来ました。

FFS理論では、強みを活かし弱みに気を付けるという特性が分かり、今後に生かしていけると思いました。

交流と学びのバランスが良く、楽しみながら学ぶことが出来た例会だと思えます。

オンラインでのメリットありました。が、この状況が一日も早く解消され、次回は対面での例会を行いたいと思えます。

12アイテムとは  
「12アイテムとは」  
「12アイテムとは」  
「12アイテムとは」

「12アイテムとは」  
「12アイテムとは」  
「12アイテムとは」  
「12アイテムとは」

「12アイテムとは」  
「12アイテムとは」  
「12アイテムとは」  
「12アイテムとは」